

避難所・仮設住宅



一緒に生活できる



一緒に生活できない

11 ページへ

飼い主・ペット



ブロック塀、ガラス窓など
崩れやすそうなものが
少ない道を避難ルートにする

同行避難

災害発生!

飼い主



事前の備え

12 ページへ

どう こう ひ なん
同行避難の
ながれ

ずっと一緒のための...

うちの子 避難マニュアル



もくじ

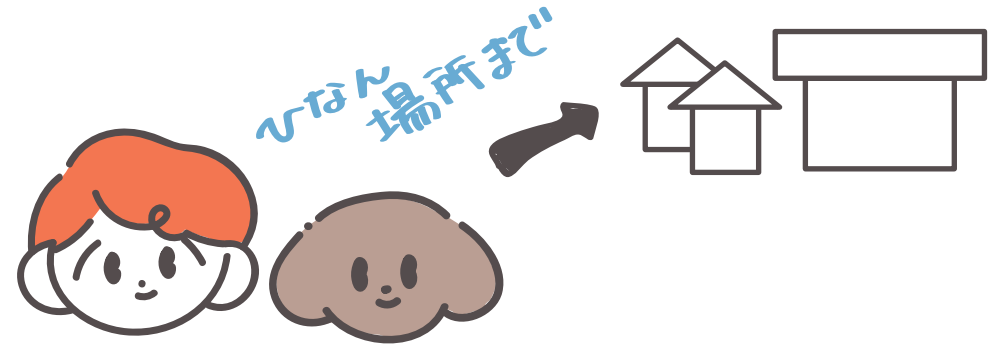
同行避難とは？	2
同行避難のながれ	3
受け入れ可能な避難場所	4
共通で配慮すること	5
聞いて！周囲の声	7
「飼い主の会」をつくる	9
受け入れ不可な避難場所	11
事前の備え	12

はじめに...

「ペットは家族の一員」という認識の今日。
環境省では2013年、「同行避難は原則」としています。災害時、一緒に避難することは当たり前になりつつあります。
しかし、同行避難するには、日頃からの準備や周囲への配慮等、普段よりも大きな責任を持たないといけません。
このマニュアルでは、災害時に離れないように・ずっと一緒にいられるように、飼い主さんが知っておきたいことをまとめました。

どうこうひなん 同行避難とは？

災害避難時にペットと飼い主が同行し、避難場所まで安全に避難すること。
避難した先（避難所・仮設住宅）で一緒に生活することではない。



ちなみに...

補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）に関しては、避難した先での生活が認められている。



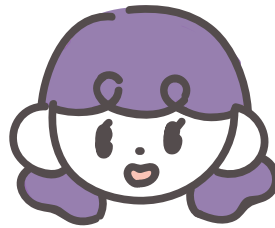
聞いて！周囲の声



動物アレルギーの人

動物は好きだけど…
発作が出たら大変。
我慢できないし、命を落とす
可能性もあるんです

実は動物が苦手…
でも言い出しにくいなあ



動物が苦手な人

- ・ 区画線などで飼育スペースをわかりやすくする
- ・ 非飼育者と動線が交わらないようにする
- ・ 落ち着いたら、ペットは親戚や知人の元で見ってもらう
(事前に頼んでおく)
- ・ 仮設住宅なら、居住区域を飼育者・非飼育者で分ける

避難所では、色々な人が一緒に生活をします。ただでさえ窮屈なのです。動物も飼育するとなると、飼い主はもちろん、他の避難者、ペット、それぞれに大きな負担がかかります。飼い主にとってはペットも家族の一員…ですが、避難所では人が最優先です。他の避難者が、ペットのことでイヤな気持ちにならないよう、配慮することが大切です。



飼い主（自分）・ペット



他の飼い主・ペット



動物が苦手な人



動物アレルギーの人

共通で配慮すること

● トイレ

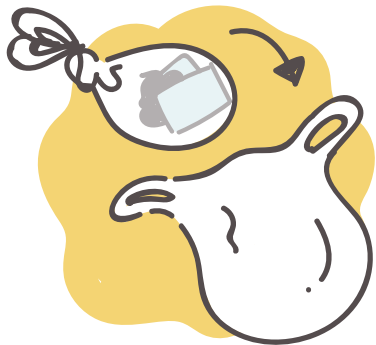
臭いが周囲に迷惑をかけてしまいます。

外で…



- ・避難場所からできるだけ離れたところで
- ・電柱や樹木へ放尿した場合、水で流すようにする

中で…



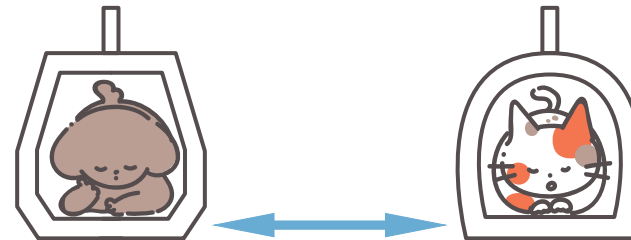
- ・汚れた猫砂やペットシートはビニール袋に入れて固く閉じ、さらに何重にもして密閉する
- ・人の動線から外れた所に設置する

● 鳴き声

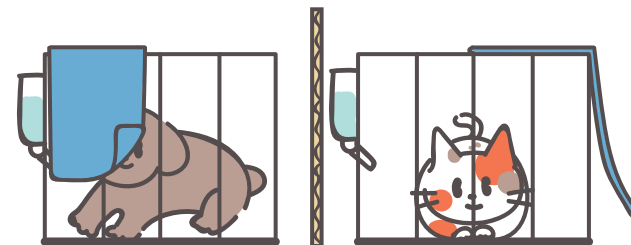
過去の災害避難時に最も問題になったのが、鳴き声です。

動物が鳴く原因は、ストレス・警戒時・不安等様々なのです。

少しでもペットに優しい環境にしてあげます。



種類ごとに分けて適度に距離を離す



ストレス防止に…タオルで目隠ししたり、ダンボールで間仕切りを作る

受け入れ不可な避難場所

全ての避難所がペットを受け入れられる訳ではありません…。

しかし、手段はたくさんあります。ずっと一緒にいられるように、安全な方法を選びましょう。

地方獣医師会

一時的に預かってもらえる。被災地に残された動物の収容も行なっている。

民間団体

一時保管先を探してもらえる。ちなみに、避難所・仮設住宅でのペット支援もしている。

動物救護本部

動物救援センターで預かってくれたり、支援をしてもらえる。地域によって様々。

親戚・知人

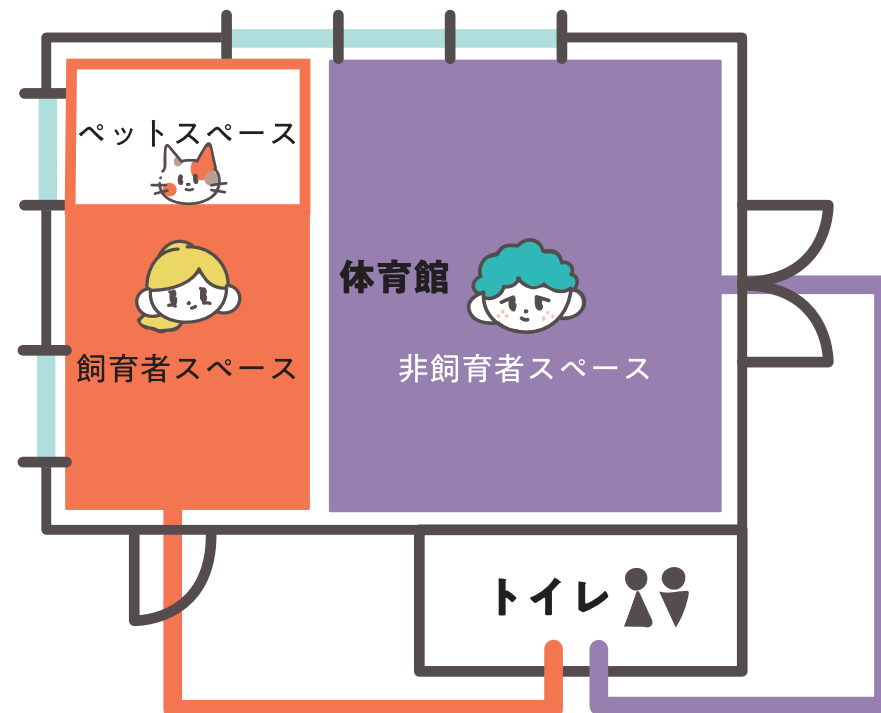
災害時に預かってもらえるよう、あらかじめ頼んでおく。

車中泊

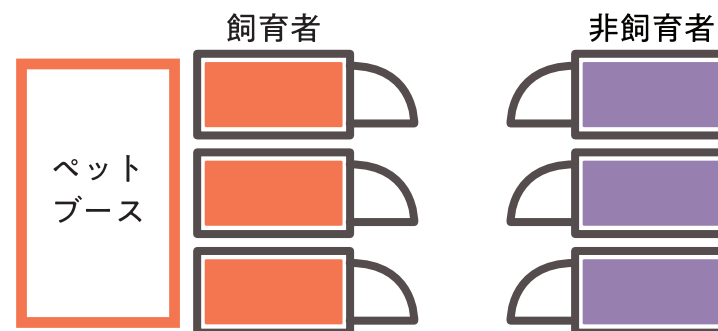
車で一緒に生活する。エコノミー症候群や熱中症などのリスクを伴う。



例) トイレの動線と交わらないようにする



例) 仮設住宅地での居住区域の分け方



「飼い主の会」をつくる

このように、避難先でペットと生活することは
気をつけることがたくさんあります。
飼い主全員が協力し合い、衛生管理や飼育管理を
行う「飼い主の会」を立ち上げましょう。



●活動の例

- ペットの飼育スペースを設置する
(避難所の管理者・運営委員会と相談)
- 名簿をつくって登録し、それを管理する
- ペットを飼育スペースへ連れて行く
- 飼い主全員で飼育ルールを決める
- 飼育・管理の作業分担を決める



飼い主全員が役割を決め、飼育管理をします。

飼育スペースとその周辺の掃除

避難所は学校や体育館が多いです。
避難が終わると元の使われ方に戻るため、ビニールシート等を使って汚れを残さないようにしましょう。



ペット物資の管理・仕分け・配分

自治体・現地の動物救護本部から物資を確保します。



不足しやすいもの

水
トイレ用品
(うんち袋、猫砂、
ペットシート等)
ケージ
ワクチンなど…

避難所名	♂・♀	ペットの名前	飼い主の名前	登録番号	その他

事前の備え

災害時、スムーズに同行避難を行うために、日頃からできることがたくさんあります。災害が起きる前に、やっておきましょう！

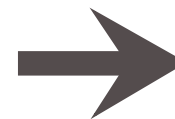
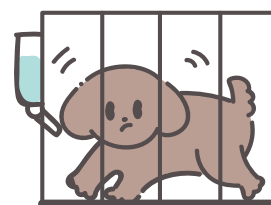
●しつけ

キャリーバッグに入る



- ・移動時、足を怪我しない
- ・動物が苦手な人も安心

トイレのしつけ

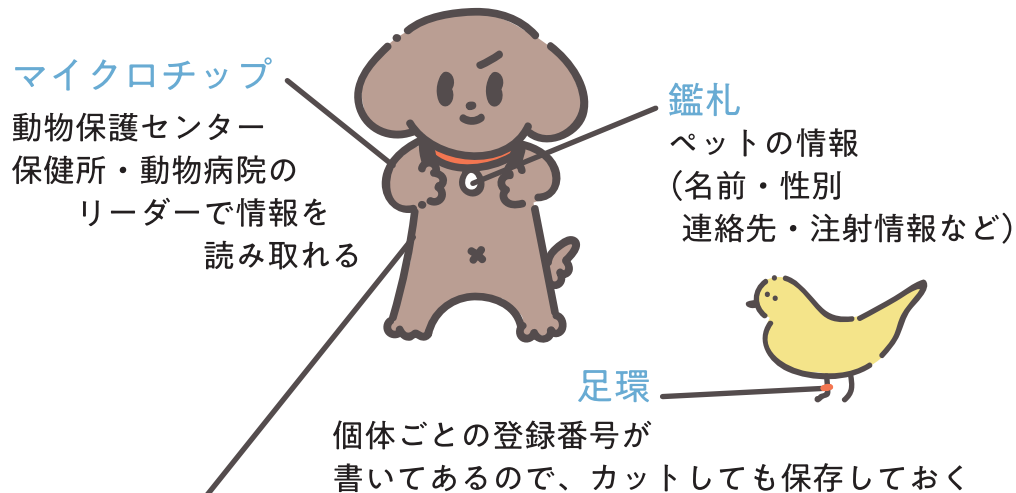


ケージ内で様子を見て、床を臭ったりくるくる回りだしたらトイレの証拠

10～15分外に出してあげてきちんとできたら褒める

★待て、おすわり、伏せ等も教えておくといいです！

●ペット用備蓄

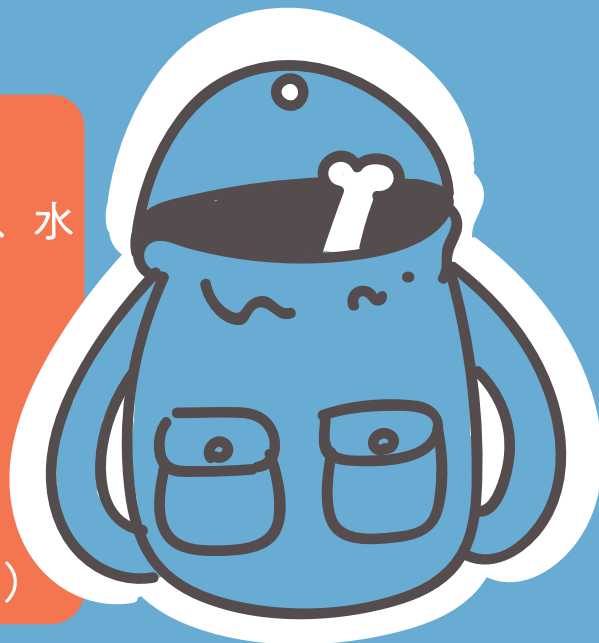


防災リュック

人のものと同じように、ペットのための防災リュックをつくっておきましょう。

①最優先

- 5日分以上のごはん、水
- お薬
- 首輪（予備）
- 伸びないリード
- 食器
- ガムテープ
(ケージの補強などに)



●注射等の確認

- 狂犬病予防接種
- 各種ワクチン
- フィラリア
- ノミ等の寄生虫駆除
- 不妊・去勢手術（できれば）

洗濯ネットに入ったら
落ち着くにゃ

床敷きは新聞紙で
代用できるよ



カイロがあれば
寒くないっぴ〜



毛布で冬も
安心だね



②役立つ

- 連絡先
- ペットの写真
- ワクチン接種情報
- 健康状態
- かかりつけの病院



ノートに
まとめると◎

③あれば◎

- ペットシート
- ビニール袋
- タオル、ブラシ
- おもちゃ
- トイレ
(猫は使い慣れた砂)